

電波時計 取扱説明書 (照明付掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元

リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、**本体裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。**例 4MY○○○、4MYA○○、8MY○○○、8MYA○○

(フリーダイヤル)

お客様相談室 **0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

(Y2209)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ **誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

❗ **電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、電池について次のことを守る**
●傷をつけない。 ●分解しない。
●ショートさせない。 ●充電しない。
●加熱しない。 ●火の中に入れてない。

❗ **梱包用のポリ袋をかぶらない**
窒息する恐れがあります。

❗ **電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない**
●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

❗ **電池の⊕⊖を正しく入れる**
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

❗ **強い振動や衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。

❗ **浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**
さびや故障の原因になります。

❗ **ぬれた手でさわらない**
さびや故障の原因になります。

❗ **分解や改造をしない**
けがや故障の原因になります。

❗ **下記のような場所では使わない**
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。
●暖房機器からの風が当たる所。
●温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
●火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気を発生させる機器のそば。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プール、温泉場などガスの発生する所。
●調理場など多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

おもな製品仕様

時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時計/分針 目盛りに対して±3度
標準電波を受信しないとき 平均月差±20秒(温度が5～35℃のときのクォーツ精度)

使用温度範囲 -10℃～50℃ *結露しないこと

推奨電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1.5V 6個

電池寿命 下記「電池寿命と使用条件」参照

電池の交換時期 交換時期になると秒針が常時12時位置に停止

お知らせ機能

標準電波	標準電波を受信して時刻を修正	照明機能	明暗センサーと連動して暗いところで照明が点灯
受信局	福島局/九州局 自動選択	明るさ調節	ロータリー式 無段階調節
受信回数	最少1回/日、最多6回/日	暗所秒針停止	明暗センサーと連動して、暗くなると秒針を12時位置に停止
受信機能	ボタン操作でON/OFF切り替え	防滴防塵機能	なし
サーチ機能	受信局、電波の強弱表示		
手動時刻合わせ	ボタン操作		

自動受信開始時刻

受信状態により、受信回数は変化します。
2時15分59秒、3時15分59秒、4時15分59秒、12時15分59秒、13時15分59秒、14時15分59秒
*秒針は受信中12時位置に停止し、受信が終わると動き出します。

電池寿命と使用条件	自動照明を1日あたり8時間使用
照度調節つまみ位置	最小(●暗) 中間位置 最大(●明)
電池の寿命	約3年 約1年9ヵ月 約6ヵ月

*電池は照明機能を使わないと長持ちしますが、電池からの液漏れを防止するため、5年以内に交換してください。

*電池寿命は、標準電波の受信に成功しているときのものです。

*表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

*製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、取付金具 1個、くぎ 4本、取扱説明書・保証書 本書

GUARANTEE
保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。

必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 氏名 様

ご住所

TEL() -

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご購入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換

電波時計について

電波時計とは

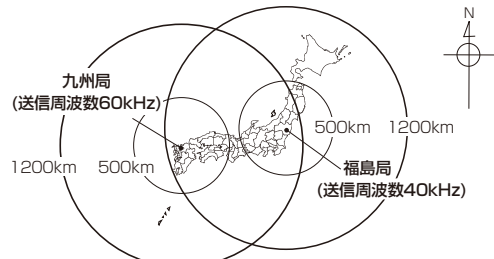
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はかぬ山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jijy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 電波障害の起きる所
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 家電製品やOA機器の近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間
- スチール机等の金属製家具の上や近く

電池の交換時期お知らせ機能について

電池の交換時期になると、秒針が12時位置に常時停止します。また、電波の受信と照明機能が停止します。このような状態になったときは、すべての電池を交換してください。

※時針と分針はこのような状態になってからおよそ1ヵ月前後動きます。

※電波を受信しているときや手動で時刻を合わせているときは、明るい所でも秒針が停止します。

⚠ **注意** 電池が液漏れを起こすと時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても照明の使いかたに応じて定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混在して使用しない。
- 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れない。



■推奨される電池について

①電池に「月一年」で表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年以上先のもの

例. 2020年2月に交換→「02-2024」より先の「使用推奨期限」表示がある電池

②同一メーカー、同一種類、同一「使用推奨期限」のもの

使用推奨期限の表示例→

①

03-2024

③未使用の単3形アルカリ乾電池

「使用推奨期限」は、JIS規格に定められた性能を保証できる保管期限のことです。使用推奨期限を過ぎた電池も使うことはできますが、本来の性能を発揮することができません。電池は未使用であっても時間とともに徐々に性能が落ちていくためです(自然劣化)。

■電池の種類について

- マンガン乾電池はアルカリ乾電池に比べて電池寿命が短くなります。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きな場合があります。
(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

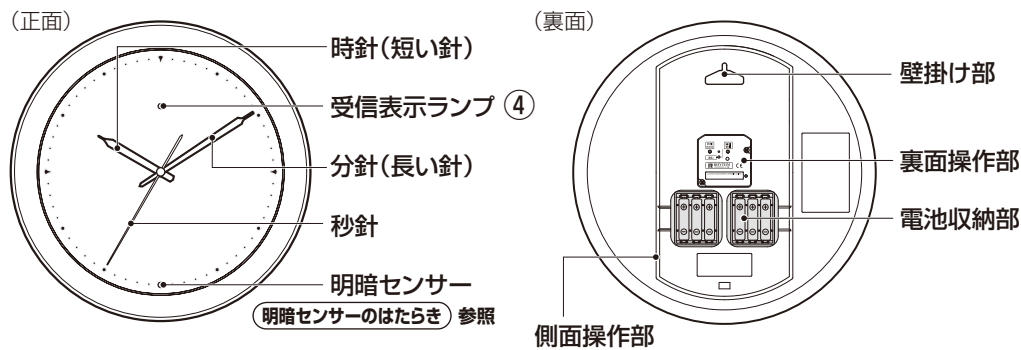
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

電池・時計の廃棄

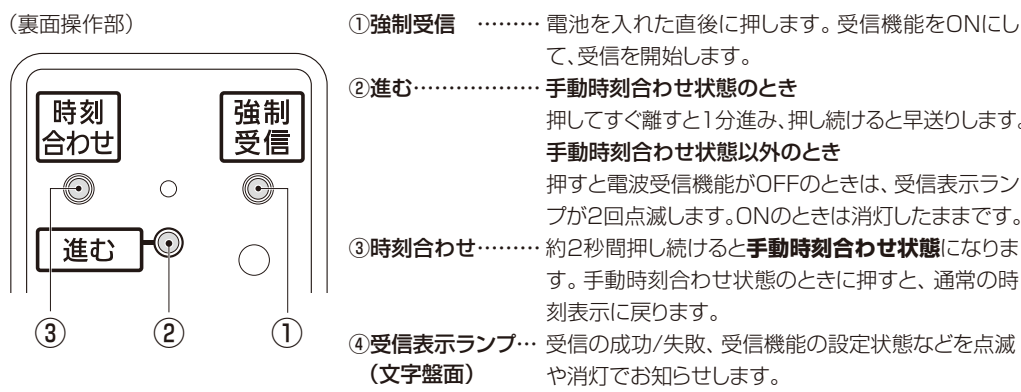
- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

各部の名称と役割

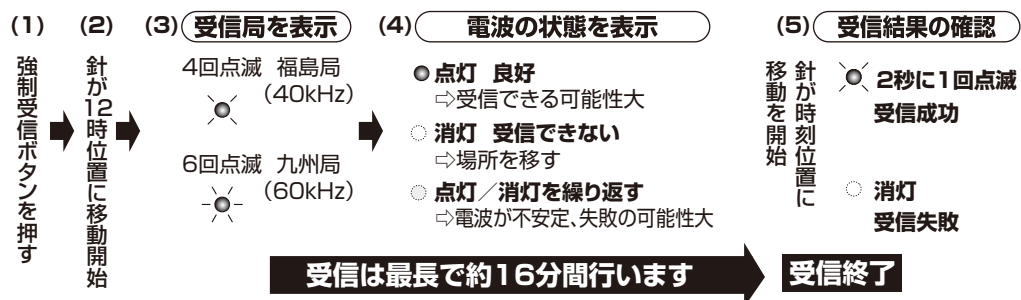
◎図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



(側面操作部)
※商品により自動点灯のタイプが異なります。



標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能の使いかた

- 窓際やベランダで(4)まで行き、受信表示ランプが点灯していることを確認します。受信表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。
- 時計を掛けたい所に移動して、受信状態を受信表示ランプで見ます。消灯している場合は、同じ部屋の中でも電波の状態が異なる場合がありますので、時計の位置を変えてみてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が悪くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ざわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面を電波の送信所に向けて、強制受信を押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ

- 操作 ※通常の針の動きのときに操作してください。
- 時刻合わせを2秒間押し続けて手動時刻合わせ状態にする
手動時刻合わせ状態になると、分針が1~2目盛動いて停止し、秒針は12時位置まで移動して停止します。この状態になってから時刻を合わせます。
 - 進むを押して時刻を合わせる
進むを押してすぐ離すと1分進み、押し続けると早送りします。
 - 手動時刻合わせを終わるときは時刻合わせを押す
- ※4分間ボタン操作をしないと通常の時刻表示になります。手動時刻合わせ状態の時刻から時を刻み始めます。
※強制受信を押すと手動時刻合わせを中止して受信を開始します。
※手動で時刻を合わせても、電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

- 誤受信しやすい所で使用する場合は意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。
- 操作 ※通常の針の動きのときに操作してください。
- 時刻合わせと進むの2つのボタンを同時に5秒間押し続けると電波受信機能のONとOFFが切り替わります。
電波受信機能が切り替わると、受信表示ランプの点滅回数でお知らせします。
ON状態になったとき:5回 OFF状態になったとき:2回
OFFにしたときは、必要に応じて手動で時刻を合わせる必要があります。
■電波受信機能の状態を確認するときは、進むを押してください。受信表示ランプが2回点滅したときはOFFになっています。ONのときは消灯したままです。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を6個ご用意ください。

1. ご使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、(手動での時刻合わせ)を参照してください。
◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を6個入れる
⚠注意 電池の⊕⊖を逆にすると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。
 - 強制受信ボタンを押す(標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた)参照
針は12時に移動して、受信が終わるまで停止します。
※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。
※早送りの途中で針が一時停止することがあります。
※受信中はボタン操作をしないでください。
 - 時計の掛けかたに従い時計を確実に掛ける
 - 受信開始後、16分経過してから受信表示ランプで結果を確認する
受信が終わると針が動き出します。
2秒に1回点滅:受信成功(正しい時刻を表示)
消灯:受信失敗(不正確な時刻)→(標準電波を受信できない場合)へ
- ▶2. 照明の使いかたにしたがって照明機能を設定してください。

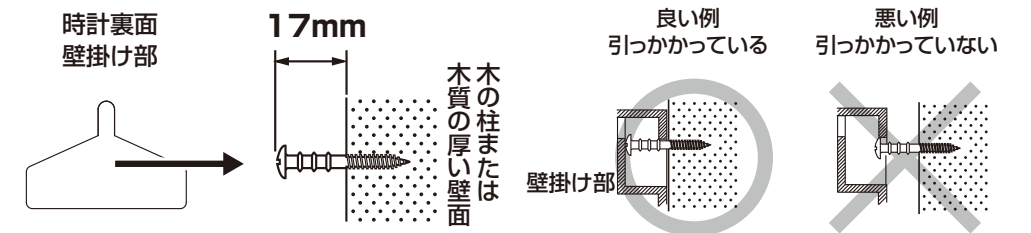
※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
※受信表示ランプは、25時間以内の受信結果を表示します。

時計の掛けかた

- ⚠注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。
- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ等)がしっかり掛かっていることを確認してください。
 - 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
 - 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
 - ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

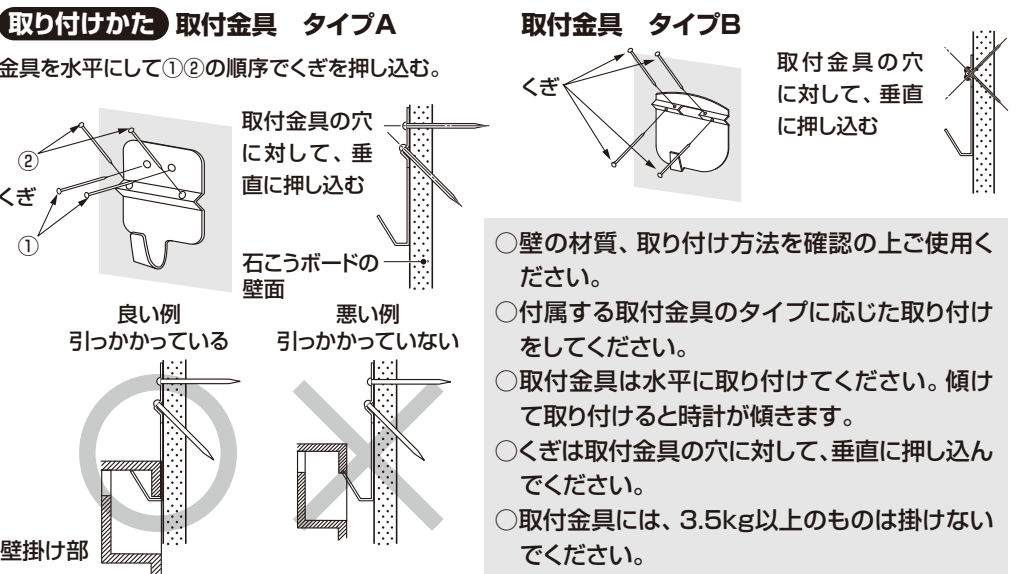
木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図のとおり、付属のくぎ4本でしっかり固定してください。



その他の壁面の場合

- コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

2. 照明の使いかた

自動点灯スイッチをONにすると、明暗センサーに連動して、暗くなると文字盤や針の照明が点灯します。
※電波を受信しているときは照明は消灯します。これは、電波を受信しやすくするためです。
※商品により自動点灯のタイプが異なります。(各部の名称と役割)の側面操作部の項目をご参照ください。

明るさの調節

自動点灯スイッチをONにして、暗い室内で照度つまみを回して明るさを調節してください。
※暗さに対しての目の慣れ具合や室内の明るさにより、照明の明るさの感じかたが変わります。

照明をためず(照明モニター)

自動点灯スイッチをONにしてください。照明モニターボタンを押している間、照明が点灯します。明るさは照度つまみの位置に関係なく明るく点灯します。照明モニターボタンを押すと受信中でも照明が点灯します。

明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合、受信表示ランプが消灯し、秒針を12時位置で停止させます。また自動点灯スイッチがONのときは照明が点灯します。
昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが動きます。
十分に明るい所で秒針が常時12時位置に停止するときは、裏面の(電池の交換時期お知らせ機能について)をお読みください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。